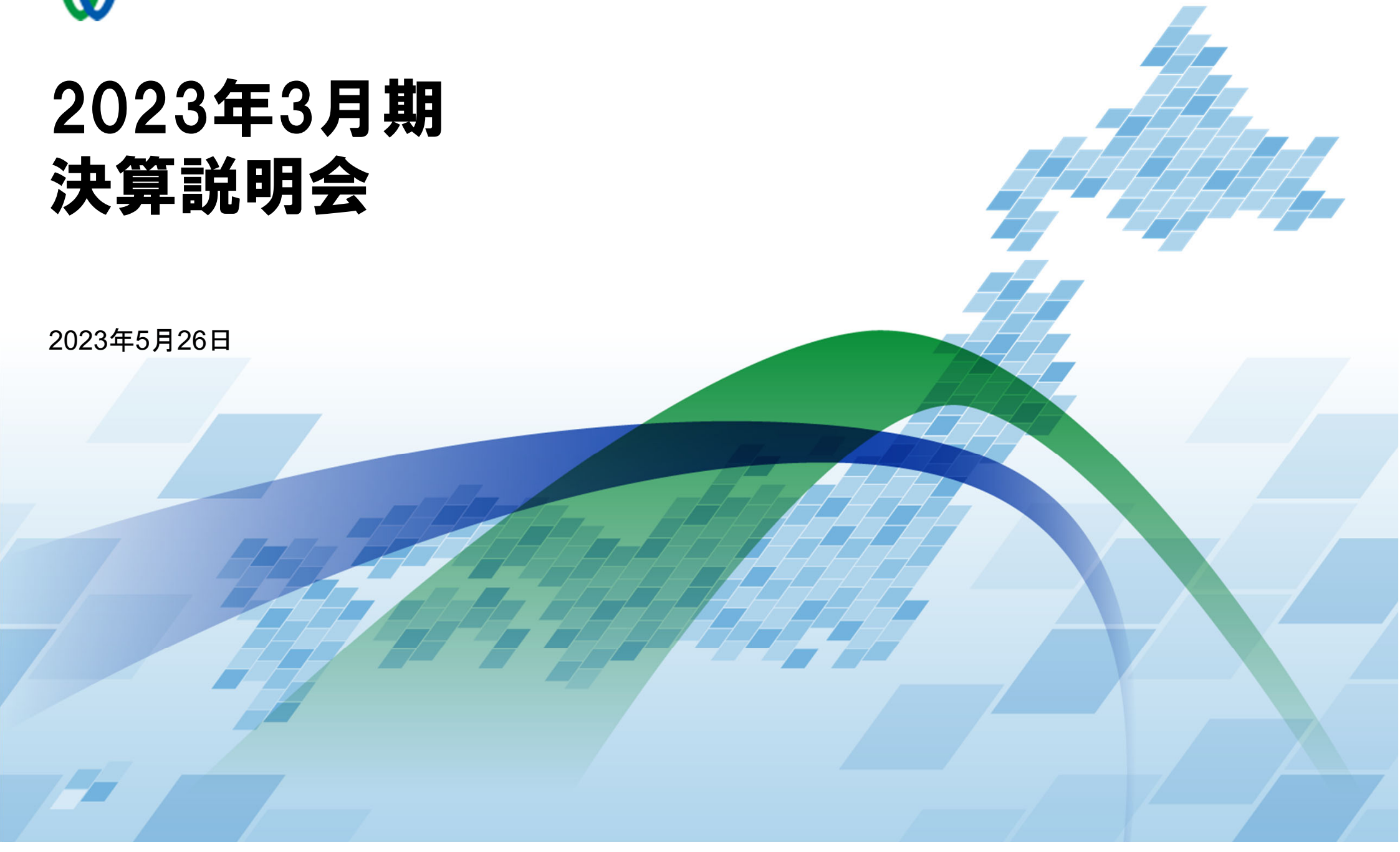


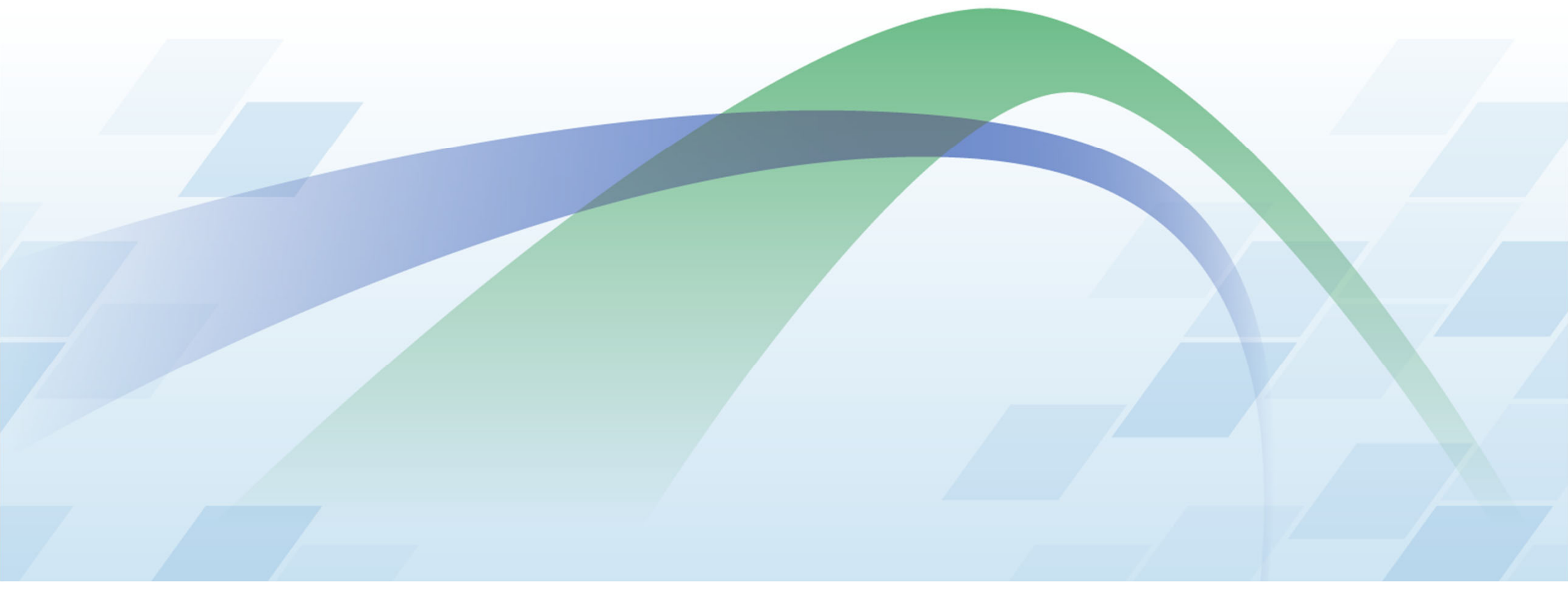
# 2023年3月期 決算説明会

2023年5月26日



I. 2023年3月期決算	P.2
II. 2024年3月期業績予想	P.16
III. 中期経営計画の進捗	P.19
IV. Appendix	P.35

# 1.2023年3月期決算



# 2023年3月期トピックス

- ◆ わが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しが続いている一方、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、わが国経済を取り巻く環境は厳しさが増している
- ◆ 公共投資は底堅く推移しており、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業は新設関連および大規模更新・保全関連それぞれで前年度並みの3,000億円、合計で6,000億円近い工事が発注された
- ◆ 当社の受注高は、技術的難易度の高い大型の新設関連、大規模更新・保全関連、鉄道関連、沿岸構造物などの受注により前年比4.2%増

## 2023年3月期トピックス

- ◆ 売上高は、手持ち工事が概ね順調に進捗したものの、新規案件の受注時期が遅れて工場操業が想定より低くなったことと、大型案件の出来高が翌年度に繰り越したことが影響して事業計画を下回ったが、前年比3.9%増
- ◆ 営業利益はエネルギー価格の高騰など悪化要因に対し生産効率化や業務効率化などにより計画を維持する見込みであったが、大型案件の出来高が翌年度に繰り越したことなどによる売上減の影響を受け、前年比11.8%減
- ◆ 2023年3月31日に東京証券取引所より「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応等に関するお願いについて」の通知を受領

## 2023年3月期決算サマリー

大型案件の年度末の出来高が翌年度に繰り越したことなどの影響により  
売上高・営業利益・経常利益は期首計画を下回ったが、親会社株主に帰属する当期純利益は目標達成

(百万円)

	21/3期	22/3期		23/3期	
	実績	実績	前年比	実績	前年比
売上高	55,268	58,002	4.9%	60,279	3.9%
営業利益	5,501	5,810	5.6%	5,127	▲11.8%
経常利益	5,547	5,992	8.0%	5,373	▲10.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,808	3,406	▲10.6%	3,077	▲9.7%
自己資本利益率 (ROE)	13.5%	10.7%	—	8.9%	—
受注高	70,695	63,974	▲9.5%	66,650	4.2%
受注残高	88,315	94,286	6.8%	100,658	6.8%



## 新設関連工事

海老江工区鋼桁および鋼製橋脚工事  
阪神高速道路株式会社



東海環状西深瀬高架橋西鋼上部工事  
国土交通省中部地方整備局



津之郷山守線(福山西環状線)  
道路改良工事(R2-2工区)  
広島県





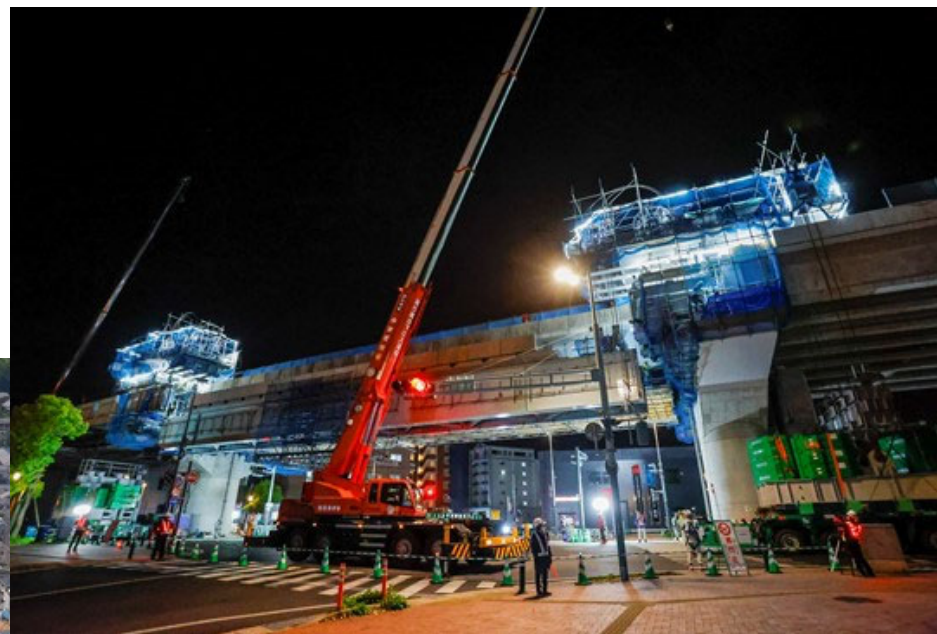
## 大規模更新・保全関連工事



東品川棧橋・鮫洲埋立部更新工事  
首都高速道路株式会社



佐世保高架橋拡幅工事 西日本高速道路株式会社



吹田JCT～中国池田IC間橋梁更新工事  
西日本高速道路株式会社



## 鉄道関連、大空間・特殊建築物、沿岸構造物工事

京阪電鉄 淀川東高架橋工事  
鹿島建設株式会社



新本牧地区護岸(防波)本体工事  
国土交通省関東地方整備局



北海道ボールパーク鉄骨  
株式会社大林組他JV



## 当社グループの主要な受注案件

### 国道219号災害復旧 鎌瀬橋上部工工事

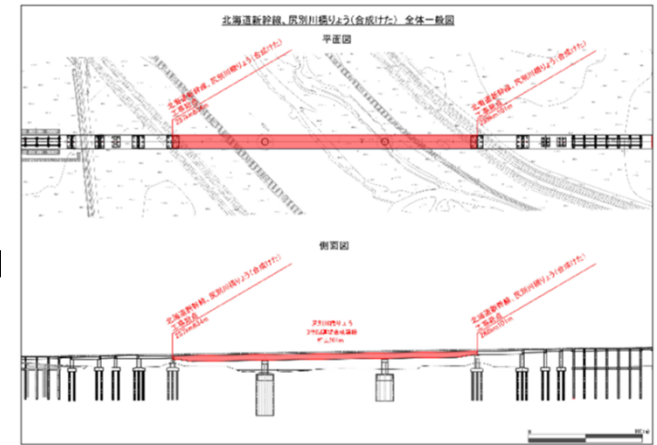


<完成予想図>

国土交通省九州地方整備局八代復興事務所 球磨川橋梁技術検討委員会資料より

工事規模: 32億円

### 北海道新幹線、尻別川橋りょう(合成けた)

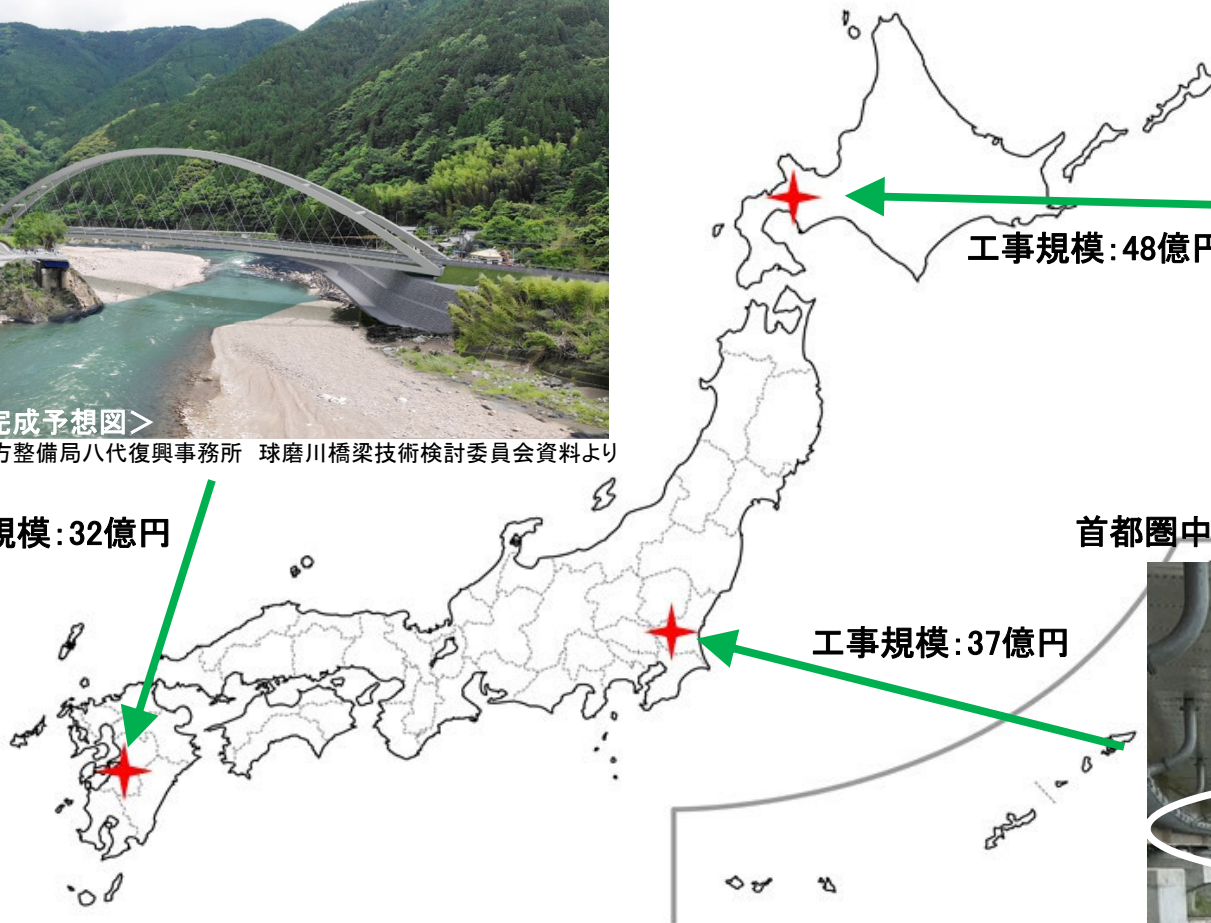


工事規模: 48億円

### 首都圏中央自動車道 飯沼川高架橋西(鋼上部工)工事



新設橋梁架設予定場所  
4車線化工事



工事規模: 37億円



## セグメント別実績(1)

宮地エンジニアリング、エム・エムブリッジとも増収減益。出来高繰り越しの影響などによりエム・エムブリッジの減益幅大きいを受注は堅調。宮地エンジニアリングは受注横ばい

(百万円)

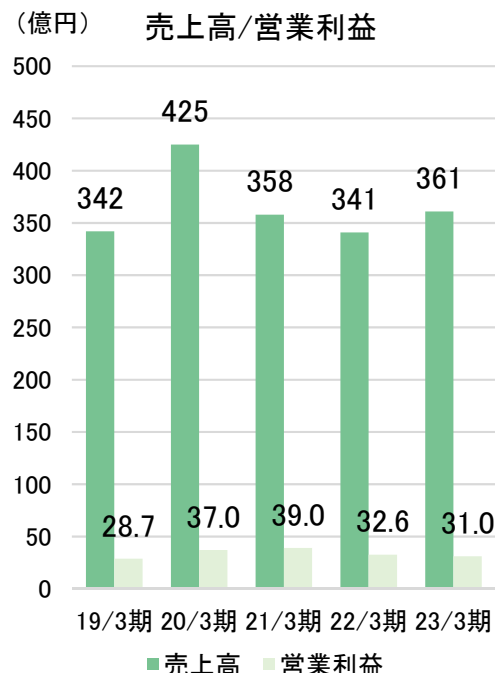
	21/3期	22/3期		23/3期	
	実績	実績	前年比	実績	前年比
売上高	55,268	58,002	4.9%	60,279	3.9%
宮地エンジニアリング	35,202	33,294	▲5.4%	34,455	3.5%
エム・エムブリッジ	19,950	24,821	24.4%	25,927	4.5%
その他	3	2	▲24.7%	3	19.2%
営業利益	5,501	5,810	5.6%	5,128	▲11.8%
宮地エンジニアリング	3,902	3,263	▲16.4%	3,097	▲5.1%
エム・エムブリッジ	1,631	2,543	55.9%	2,018	▲20.6%
その他	540	694	28.5%	1,464	110.8%
受注高	70,695	63,974	▲9.5%	66,650	4.2%
宮地エンジニアリング	36,627	38,986	6.4%	38,721	▲0.7%
エム・エムブリッジ	34,064	24,984	▲26.7%	27,925	11.8%
その他	3	2	▲24.7%	3	19.2%
受注残高	88,315	94,286	6.8%	100,658	6.8%
宮地エンジニアリング	47,304	52,996	12.0%	57,262	8.1%
エム・エムブリッジ	41,208	41,371	0.4%	43,369	4.8%
その他	—	—	—	—	—

## セグメント別実績(2)

## 宮地エンジニアリング

受注高については、北海道新幹線の尻別川橋りょう(独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)や、球磨川豪雨災害で流失した鎌瀬橋復旧工事(国土交通省)などの大型案件を受注し、392億87百万円(前期比3.8%減)となりました。

売上高は、手持ち工事が順調に進捗し、361億3百万円(同5.8%増)となりました。損益は、エネルギーや資材価格などの大幅な上昇による影響があったものの、生産の効率化、工事採算性の向上などに取り組んだ効果が発揮され、営業利益は30億97百万円(5.1%減)となりました。



## 今後の取り組み

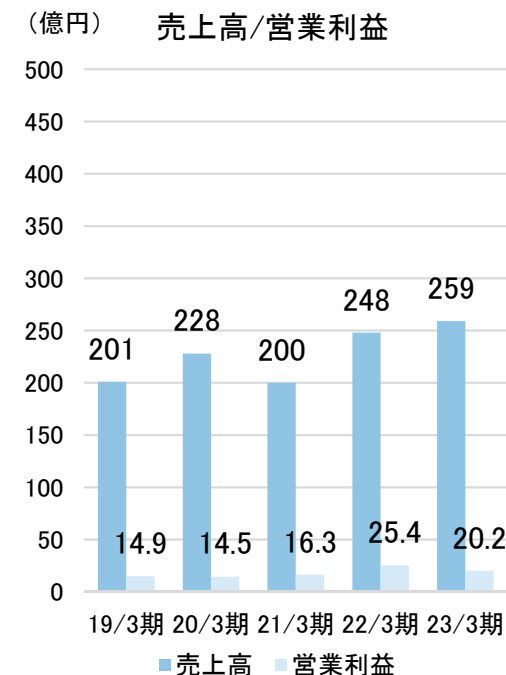
## 新設事業から保全事業まで、バランスの良い受注を確保

経営トップ自らの発信や率先垂範により、持続的成長を目指す企業の根幹をなす従業員の意識改革・醸成に取り組んでいます。こうした意識改革をはじめ、業務効率の向上、千葉工場改革プロジェクトによる生産性の向上、固定費・変動費の削減を進めるほか、技術開発の推進による企業価値向上と開発商品の拡販による収益拡大を図っていきます。また、ルート活動の強化と技術交流により人材の確保・育成を図り、経営基盤の強化に努めます。

## エム・エムブリッジ

直近5年間の売上高は200億円規模で、右肩上がりの傾向です。特に、2023年3月期は、中国自動車道吹田JCT～池田IC間橋梁更新工事や、首都高速1号羽田線工事といった大規模更新工事の順調な進捗に加え、佐世保道路佐世保高架橋の拡幅工事も立ち上がったことで、過去最高の259億円の売上を達成しました。

今後も、着実に継続的な成長を目指します。また、営業利益も過去最高益であった2022年3月期の25.4億円には及ばないものの、初の2年連続20億円以上の利益を上げていきます。コスト改善活動や生産性向上と業務効率化を進め、収益性も高めていきます。



## 今後の取り組み

## 新規橋梁プロジェクトと高速道路大規模更新工事への参画

新設および保全市場共に大規模・高難度工事が増えていくことから、高度な技術力と豊富な経験・実績を持つ当社の強みを十分に活かせる事業環境にあると考えており、積極的に参画を進めていきます。一方で、建設業界全体が人材不足であり、働き方改革への対応も必要なため、現場業務の負荷軽減を重視したICT活用を行っていきます。また、大規模・高難度工事での活用を視野に入れた技術開発も進めていきます。

## 事業別実績(1)

前年度低調だった新設関連売上が大きく増加  
他の売上は前年度実績より減少

(百万円)

	売上高					受注高				
	21/3期	22/3期		23/3期		21/3期	22/3期		23/3期	
	実績	実績	前年比	実績	前年比	実績	実績	前年比	実績	前年比
合計	55,268	58,002	4.9%	60,279	3.9%	70,695	63,974	▲9.5%	66,650	4.2%
新設	25,339	13,811	▲45.5%	20,322	47.1%	17,432	28,279	62.2%	24,235	▲14.3%
大規模更新・保全	8,375	23,320	178.4%	21,837	▲6.4%	35,981	16,546	▲54.0%	14,489	▲12.4%
鉄道	18,317	15,076	▲17.7%	12,876	▲14.6%	11,628	13,949	20.0%	16,475	18.1%
FRP・その他	784	986	25.7%	977	▲0.9%	861	1,076	25.0%	801	▲25.6%
大空間・特殊建築物	2,264	1,903	▲16.0%	1,744	▲8.4%	2,273	2,398	5.5%	1,792	▲25.3%
沿岸構造物	83	2,798	3,259.8%	2,416	▲13.7%	2,415	1,618	▲33.0%	8,752	440.8%
太陽光発電	102	104	1.7%	103	▲1.3%	102	104	1.7%	103	▲1.3%

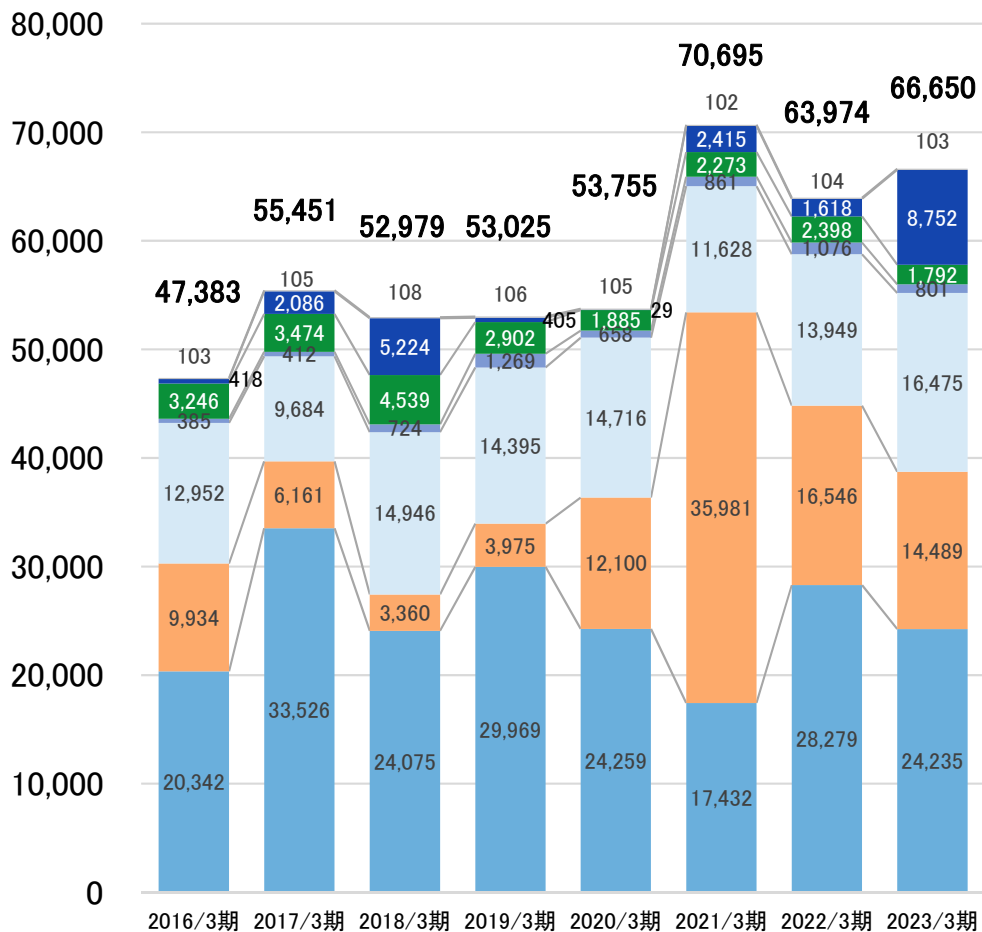
- ◆ 新設関連で海老江工区鋼桁及び鋼製橋脚工事などにより20,322百万円を売上
- ◆ 大規模更新・保全関連で吹田JCT～池田IC間橋梁更新などにより21,837百万円を売上
- ◆ 新設関連で令和2年7月豪雨球磨川水害により流失した鎌瀬橋など24,235百万円を受注
- ◆ 鉄道関連で北海道新幹線 尻別川橋りょうなど16,475百万円を受注



# 事業別実績(2)

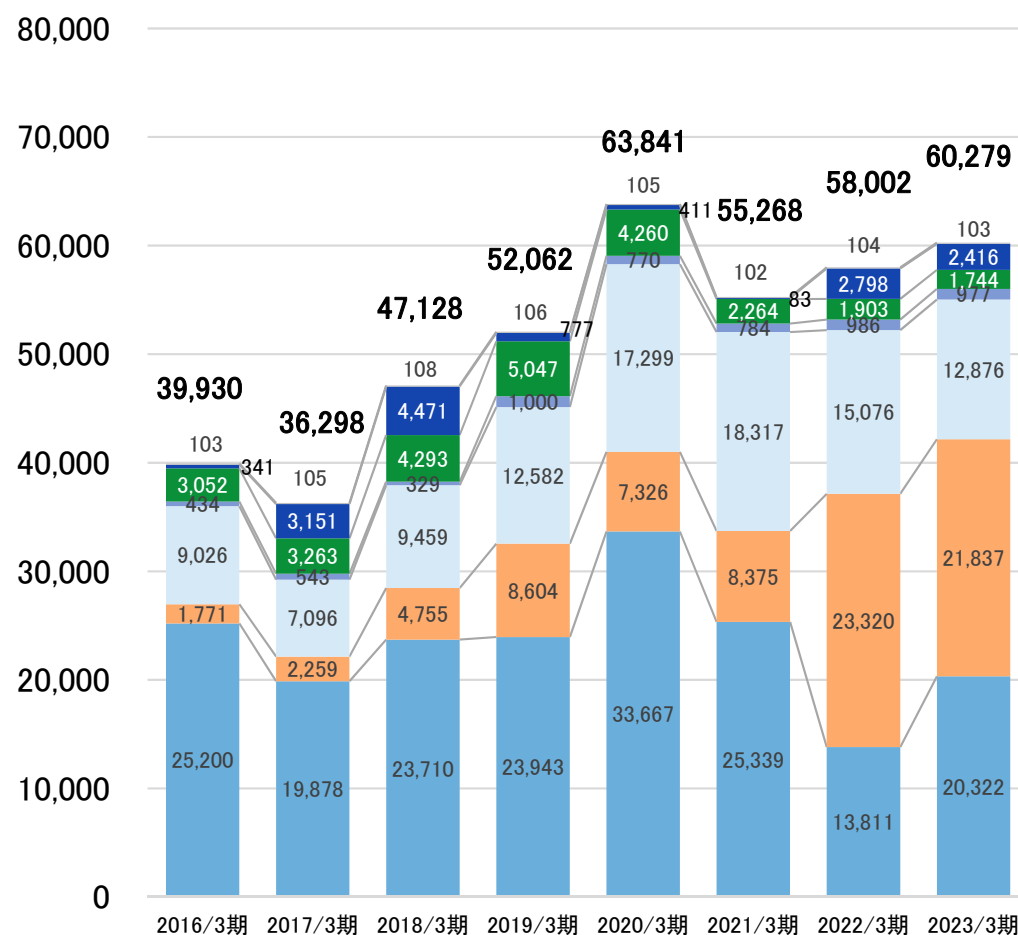
## 受注高推移

(百万円)



## 売上高推移

(百万円)



■ 新設 ■ 大規模更新・保全 ■ 鉄道 ■ FRP・その他 ■ 大空間・特殊建築物 ■ 沿岸構造物 ■ 太陽光発電

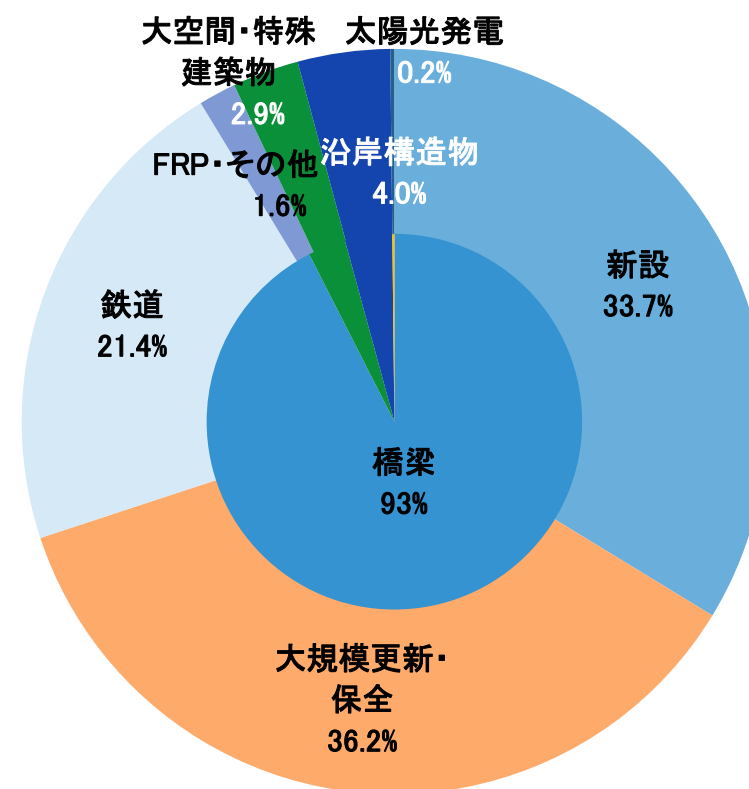
# 事業別実績(3)

## 業界トップクラスの橋梁総合エンジニアリング企業

長大橋含む鋼製橋梁、タワー・ドームなど大空間構造物、沿岸構造物の設計・製作・建設計画・施工を一貫して手掛ける

橋梁	新設	大規模プロジェクトを含む新設橋梁の設計・製作・施工計画・現場施工
	大規模更新・保全	高速道路の構造物を最新の技術を用いて建設当初と同等またはそれ以上の性能や機能を回復させる大規模更新工事と、既設橋梁の補修、拡幅、災害復旧、撤去、架け替え工事などの設計・製作・施工計画・現場施工
	鉄道	高い技術力を必要とする鉄道の渡河橋や跨道橋および跨線橋の設計・製作・施工計画・現場施工
	FRP・その他	FRPを用いた検査路や化粧板などの開発製品や特許技術などに関する販売、業務委託
大空間・特殊建築物	東京スカイツリーなどの高層タワーやエスコンフィールド北海道などのドームの施工計画・現場施工	
沿岸構造物	特殊な設計技術力を必要とする鋼製の沈埋函、ケーソン、ジャケット、浮消波堤などの設計・製作	
太陽光発電	旧工場跡地を活用した太陽光発電事業	

2023年3月期 事業別売上実績比率



## 貸借対照表、キャッシュ・フロー

## 中期経営計画の達成に向け必要な財務安定性を確保

## 主な貸借対照表の項目

(百万円)

	21/3末	22/3末	23/3末
資産合計	60,738	61,815	63,051
流動資産	41,219	42,056	43,185
固定資産	19,518	19,759	19,866
有形固定資産	12,914	12,756	12,968
無形固定資産	305	336	372
投資その他の資産	6,297	6,666	6,524
負債合計	25,731	22,724	21,483
流動負債	20,656	18,150	17,395
固定負債	5,075	4,574	4,087
純資産合計	35,006	39,091	41,568
株主資本	25,236	28,097	29,812
その他の包括利益累計額	4,910	5,282	5,695
非支配株主持分	4,859	5,710	6,059

## 売上債権増、仕入債務減により営業CFは減少、キャッシュ期末残高減

## 主なキャッシュ・フロー計算書の項目

(百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,094	11,915	495
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,587	▲1,185	▲711
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,741	▲3,267	▲2,147
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲3,234	7,462	▲2,363
現金及び現金同等物の期末残高	8,516	15,979	13,615

## Ⅱ.2024年3月期業績予想



## 2024年3月期トピックス

- ◆ 海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスク、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要あり
- ◆ そのような状況下においても、橋梁事業については、2023年度の発注見通しとして新設関連で2,800億円(当社推定値)、大規模更新・保全関連で3,200億円(当社推定値)と前年度と同規模程度の発注量が見込まれている
- ◆ 今後も事業規模約7兆円の大規模更新工事は順調な発注が見込まれ、更には高難度ビッグプロジェクトの推進も見込まれており、中期的に当社グループが飛躍する事業環境が拡大
- ◆ グループ管理体制強化によって経営基盤を強固なものとし、経営資源の適切な配分、技術開発やDX活用による生産性向上、人材育成により中期経営計画の達成に努める



## 2024年3月期業績予想

前年度より繰り越した影響もあり、売上・営業利益・経常利益は大幅増の見込み  
受注についても過去最高の受注高を目指して鋭意活動中

(百万円)

	22/3期	23/3期		24/3期	
	実績	実績	前年比	業績予想	前年比
売上高	58,002	60,279	3.9%	69,000	14.5%
営業利益	5,810	5,128	▲11.8%	6,600	28.7%
経常利益	5,992	5,374	▲10.3%	6,700	24.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,406	3,077	▲9.7%	3,500	13.7%
1株当たり年間配当金 (円)	140	140	—	180 (普通配当 160 記念配当 20)	—
自己資本利益率 (ROE)	10.7%	8.9%	—	9.6%	—
受注高	63,974	66,650	4.2%	93,300	40.0%
受注残高	94,286	100,658	6.8%	124,900	24.1%

## Ⅲ.中期経営計画の進捗



# 目指す姿と事業戦略

## 2026年に 目指す姿

ファブ(工場製作)とエンジ(現場施工)を両輪とし、豊富な実績に基づく高度な技量を備えた日本を代表する  
蔦集団を中心とした協力会社を傘下に持つ業界屈指の総合エンジニアリング会社として、グループの連携を  
強化すると共に、経営資源の質・量の充実を図り、競争力を強化し、豊かな社会の構築に貢献する大規模工  
事への参画により売上と利益を更に拡大することで、持続的成長による企業価値の向上を図る

## 主要戦略

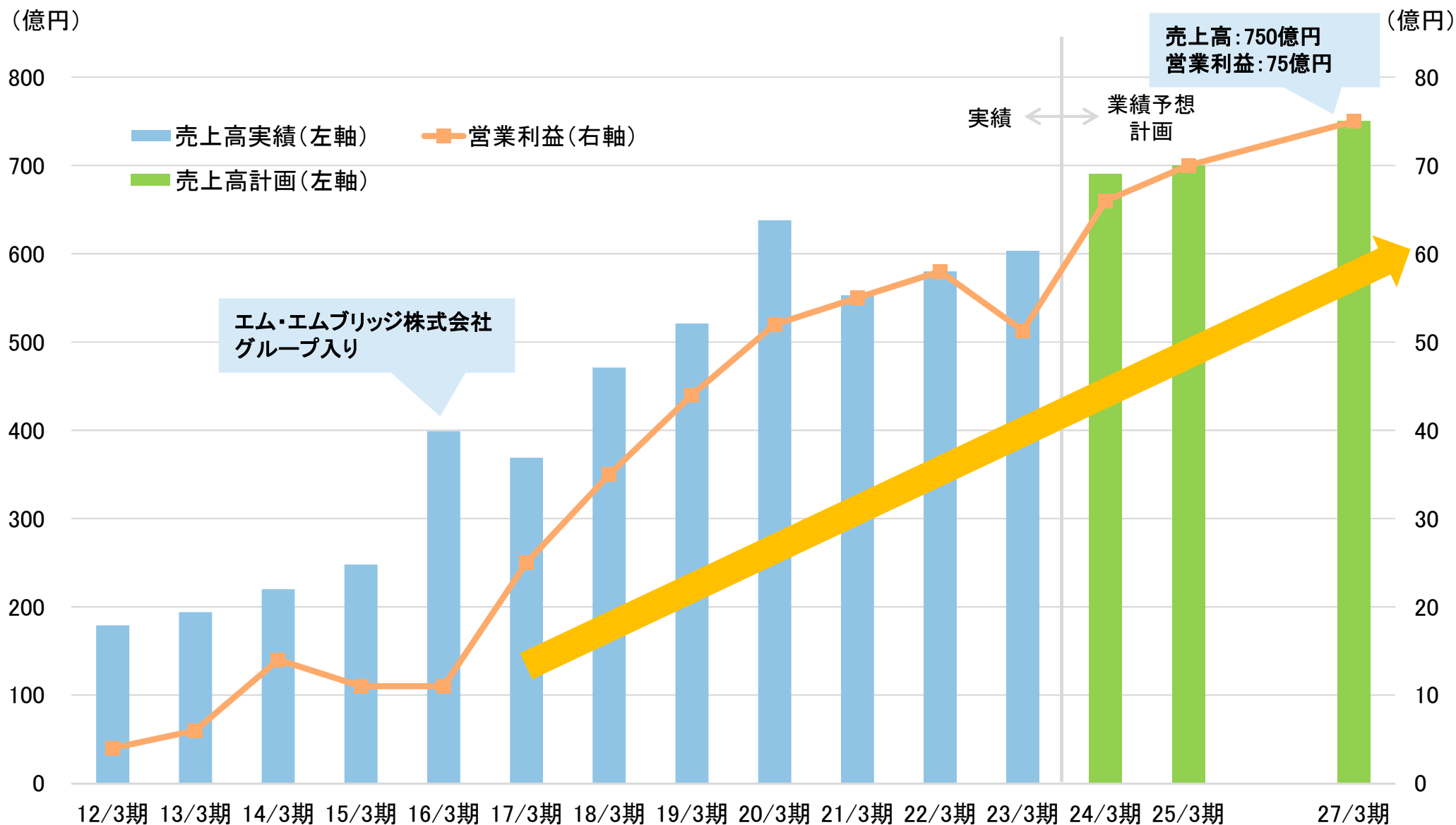
- 1)新設橋梁ビッグプロジェクトへの参画
- 2)高速道路大規模更新工事の取り込み拡大
- 3)民間の高難度工事への対応
- 4)技術開発の強化
- 5)事業拡大・効率化に向けた設備投資
- 6)アライアンス強化
- 7)開発商品の拡販
- 8)ESGへの取り組み

# 定量目標の進捗

(百万円)

	22/3期	23/3期		24/3期	25/3期	27/3期
	実績	目標	実績	業績予想	目標	目標
売上高	58,002	65,000	60,279	69,000	70,000	75,000
営業利益	5,810	5,500	5,128	6,600	7,000	7,500
経常利益	5,992	5,500	5,374	6,700	7,000	7,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,406	3,000	3,077	3,500	3,800	4,000
自己資本比率	54.0%	55%以上	56.3%	57.5%	55%以上	
自己資本利益率(ROE)	10.7%	10%以上	8.9%	9.6%	10%以上	
総資本利益率(ROA)	9.8%	10%以上	8.6%	10.4%	10%以上	

# 売上高・営業利益の実績および計画





# 主要戦略の状況

主要戦略	進捗評価	取組状況
1)新設橋梁ビッグプロジェクトへの参画	○	大阪湾岸道路西伸部新設橋梁ビッグプロジェクトへの参画に向けて、技術的な勉強会を継続実施中
2)高速道路大規模更新工事の取り込み拡大	◎	技術提案・交渉方式の複数の大規模更新・保全関連工事において、優先交渉権を獲得して設計対応中 更に複数の案件についても参画するべく技術提案検討中
3)民間の高難度工事への対応	◎	高い技術力が評価されている民間向け高難度工事（鉄道、大空間・特殊建築物、沿岸構造物関連工事）についても、具体的案件について鋭意取組継続中
4)技術開発の強化	○	ICT、DX関連会社や各種メーカーとの共同開発を進め、業務改善を推進中
5)事業拡大・効率化に向けた設備投資	△	工場の設備更新工事に加えて機材センター改修工事に着手したものの、コロナ禍の影響もあり全体的に少し遅れ気味の状況
6)アライアンス強化	○	ゼネコンとの異工種JVを組成して応札した大規模更新・保全関連工事において優先交渉権を獲得。他にも複数案件で異工種JVにより応札対応中
7)開発商品の拡販	○	NEXCOの大規模案件の技術提案において、FRP合成床版が採用された。 MS-Rシステム（床版撤去工法）も採用実績獲得
8)ESGへの取り組み	○	ESGに基づくマテリアリティを定め、サステナビリティ委員会の指導のもとに活動強化中

質・量共に  
経営資源を揃える  
当社の強みを  
最大限に発揮出来る  
プロジェクト

# 施策取り組みの状況

## 技術提案・交渉方式により優先交渉権を獲得して設計対応中の大規模JV工事

### 道央自動車道 北郷地区橋梁リニューアル工事 実施設計

発注者：東日本高速道路株式会社 北海道支社

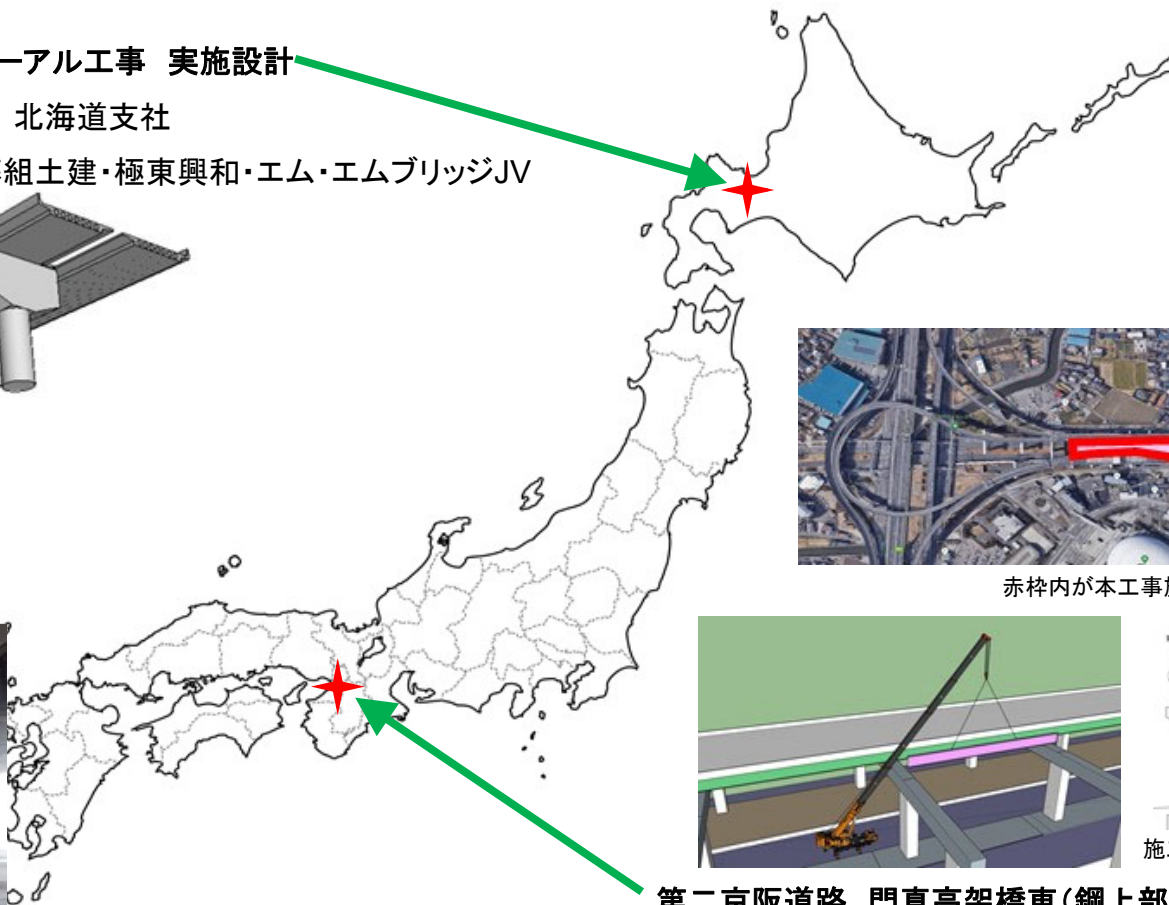
契約業者：大成建設・岩田地崎・伊藤組土建・極東興和・エム・エムブリッジJV



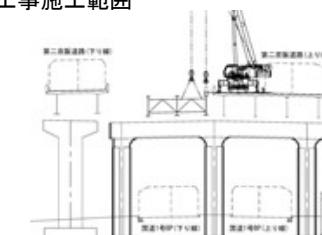
第一月寒川橋検討資料



現況写真



赤枠内が本工事施工範囲



施工計画図

### 第二京阪道路 門真高架橋東(鋼上部工)設計・工事(設計業務)

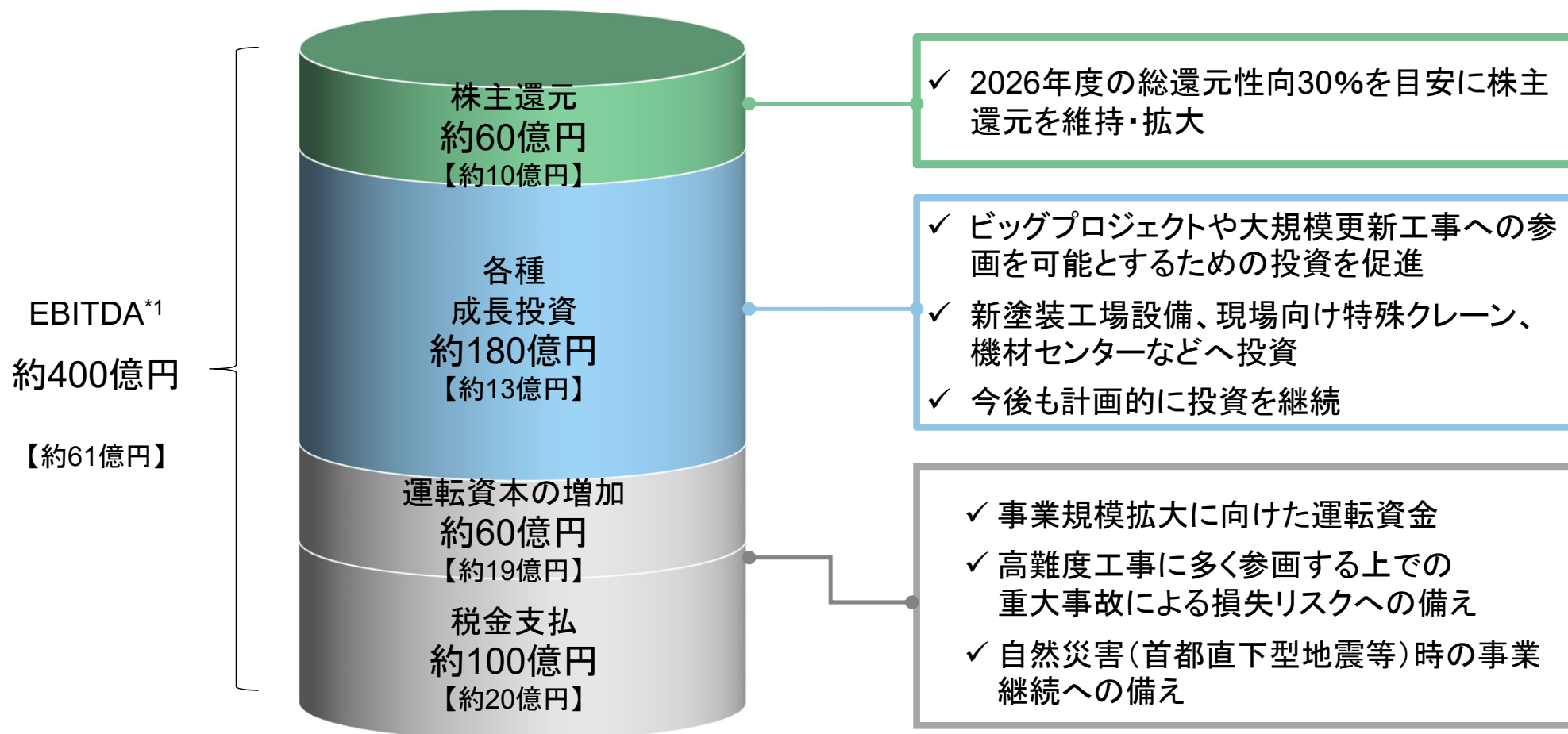
発注者：西日本高速道路株式会社 関西支社

契約業者：宮地エンジニアリング・エム・エムブリッジJV

# 資本戦略

■ 一定の資本拡充および成長投資も確保の上で、株主還元の維持・拡大を図る

2022年度～2026年度合計



\*1 Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization

(注) 【 】内は2022年度の実績

# 投資戦略

		5年間の投資見込み	23/3期実績	取組状況
生産能力の効率化・適正化	ヤードの整備・スペース効率化	5億円	0.1億円	工場外の敷地を借地して製作部材を保管していたが、整備・効率化により借地面積を1/3に縮小
	塗装工場再構築	20億円	1.6億円	塗装作業の効率化により、全体工程のボトルネックが解消し、塗装作業効率30%UP
	工場設備の更新・補修・建屋耐震補強	70億円	2.0億円	今後も継続して大型クレーン等設備更新実施予定
	新事務所棟建設	25億円	0億円	中期経営計画期間中の実施に向け、物価高騰の影響などを踏まえた計画見直し対応中
	機材センターの改修	10億円	5.5億円	災害発生時の資材発送拠点として活用するべく、2024年完成に向けて耐震性向上工事に着手
	機材センターの設備更新	20億円	2.2億円	大規模更新・保全関連工事やビッグプロジェクトへの参画を可能とする戦略機材を増強、更新中
事業ポートフォリオの拡大・適正化	新規事業開発	30～50億円規模を想定	1.7億円	M&A情報を常時入手し、検討している 技術開発はICT、DX関連会社および各種メーカーとの共同開発を進め、業務改善を推進中
総合エンジニアリングの機能強化	M&A			
	技術開発			
成長投資合計		180～200億円規模を想定		

# 配当政策

成長戦略の実行により、親会社株主に帰属する当期純利益を確保

(百万円)

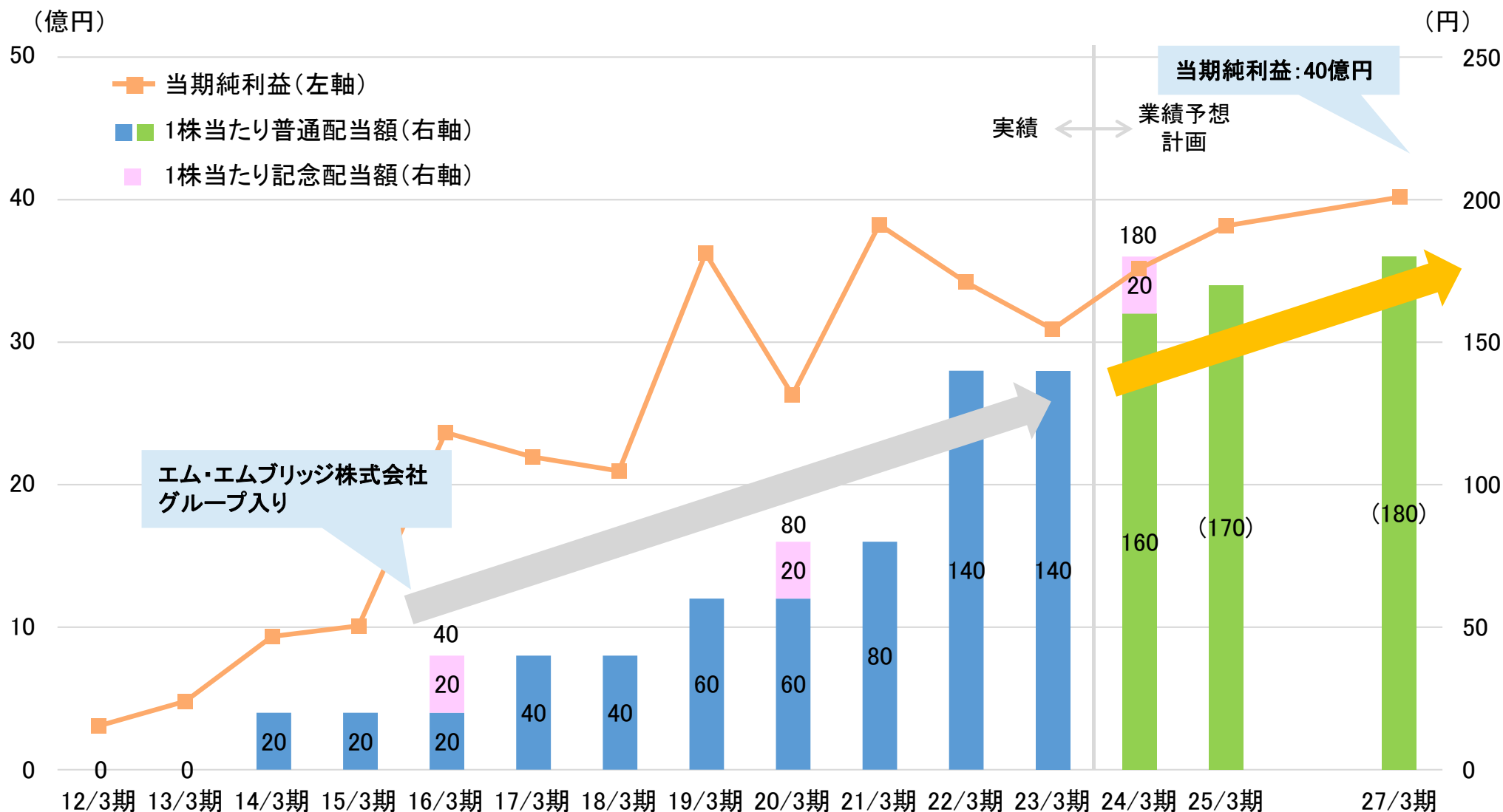
	22/3期	23/3期		24/3期	25/3期	27/3期
	実績	目標	実績	業績予想	目標	目標
売上高	58,002	65,000	60,279	69,000	70,000	75,000
営業利益	5,810	5,500	5,128	6,600	7,000	7,500
経常利益	5,992	5,500	5,374	6,700	7,000	7,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,406	3,000	3,077	3,500	3,800	4,000
1株当たり配当額(円)	140	140	140	180 (普通配当 160 記念配当 20)	(170)	(180)

好業績時には機動的な株主還元を実施するなど、  
資本効率にも十分留意して自己資本の水準を適切にコントロール



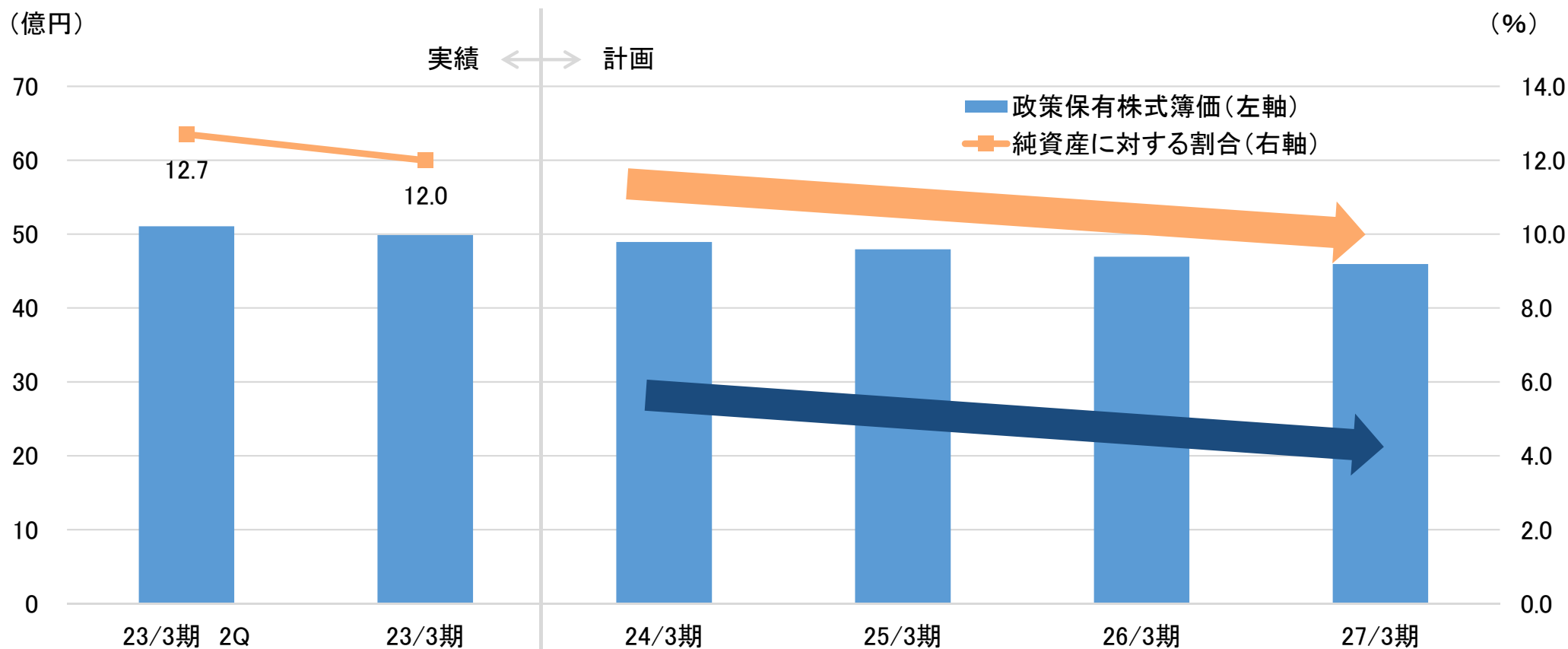
# 当期純利益と配当金の実績および計画

## 成長戦略の実行および継続的な配当の維持・拡大へ



# 政策保有株式の縮減方針

中計期間中に政策保有株式簿価の純資産に対する割合を10%以下まで縮減へ



- ◆ 23/3期は簿価2.1億円相当の政策保有株式売却
- ◆ 株価上昇により簿価上昇傾向だが、純資産に対する割合は順調に低下

## 中期経営計画に基づく技術開発・DX戦略の推進

### 技術開発

当社グループの長期戦略には「長大橋、大規模・高難度工事の取組み拡大」と「新事業・新分野への取組み推進」の2つであり、これらの戦略に適う技術開発を進めています。特に橋梁に関しては大規模工事になるほど耐風や耐震への要求も高くなり、また、都市部での施工は交通規制をはじめとする制約条件が多くなるため、これらに対応する技術開発を行ってきました。「新事業・新分野への取組み推進」では、漁港などの養殖適地拡大に資するための浮消波堤に関する技術開発などに取り組んでいます。

#### 耐風検討技術「風洞実験設備」・「大型起振機」

特に特殊橋梁や大型橋梁では、風や地震時の振動に対する安全性を確保するために、橋梁の振動特性を正確に把握しておく必要があります。当社は国内最大級の風洞実験設備を有する三菱重工(株)総合研究所のサポートを受け、より精度の高い風洞実験を始めとする耐風検討が実施可能です。また、当社が所有する大型起振機を用いて、実橋梁の大振幅下での振動特性を把握可能です。これらの技術を用いて他社では検討が困難な問題の解決を実現してまいりました。



大型起振機

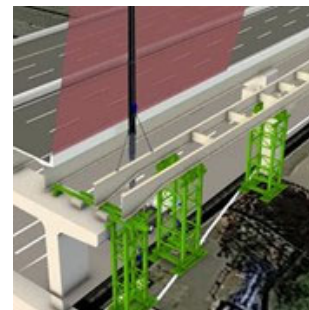
### DX戦略

建設業は、建設工事従事者の高齢化や担い手不足という課題に直面していることから、現場の生産性向上や長時間労働の抑制、施工技術の継承が求められています。

当社グループでは建設DXとしてi-Constructionの推進による省力化・生産性向上、およびデジタル技術・データの活用による業務プロセス・働き方の変革、施工技術(ノウハウ)の継承に取り組んでいます。

#### MR(Mixed Reality)技術活用による現場作業効率化と安全性向上

3次元モデルによる施工シミュレーションを用いて施工方法を事前検証し、最適化することで安全性・生産性向上を図っています。また、3次元データと現実空間を複合させ、作業手順を視覚化することで、経験の少ない工事従事者への施工方法の理解度向上を図っています。



施工シミュレーション



現実空間との複合

# ESG・SDGsへの取り組み(1)

## グループとしてのESG・SDGsへの取り組み

### 自然災害に鋼構造スペシャリスト集団として対応

- ◆ 阪神淡路大震災・六甲道駅  
-2年掛かるとされた復旧作業を74日で実現
- ◆ 東日本大震災・東北新幹線  
-新幹線高架橋の横ずれ3か月で復旧
- ◆ 熊本地震・熊本城飯田丸五階櫓倒壊防止装備  
-アーム式支保工で倒壊防止

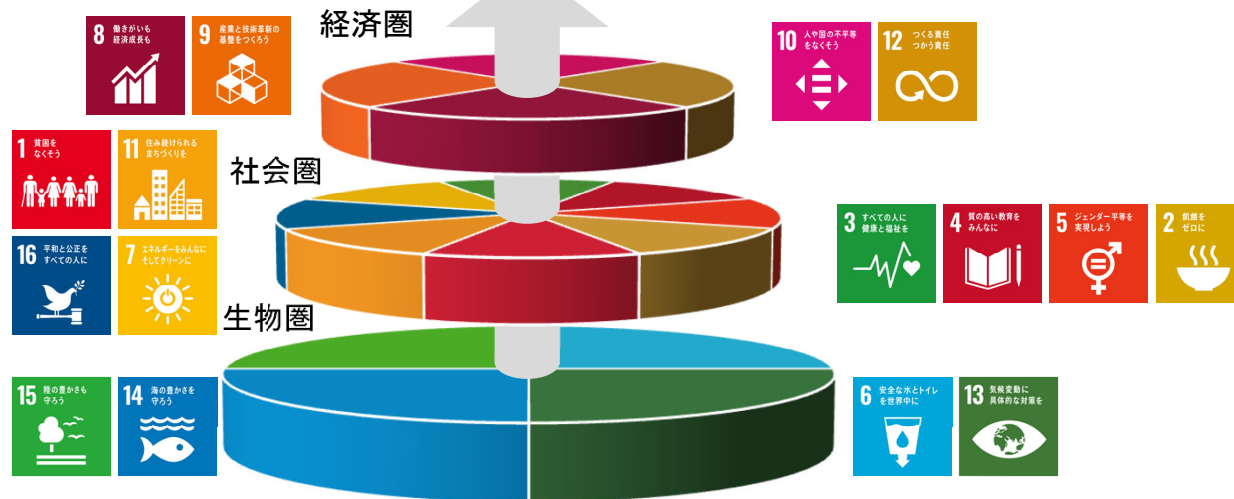
### 人材育成・ダイバーシティ推進

- ◆ 女性活躍の推進  
-溶接工・設計職などで女性社員活躍を積極支援  
-ライン部長など女性社員の幹部積極登用
- ◆ 社員の働きやすい職場づくり  
-介護等による一時退職制度と、職場復帰を促す支援制度を運用  
(退職前に準ずる職能評価で復帰可能)
- ◆ 社員の能力開発支援  
-博士号、修士の習得奨励のための大学院留学制度



### 環境への取り組み

- ◆ 松本工場跡地にて太陽光発電  
-CO2削減量469,858kg/年
- ◆ 沿岸構造物技術を用いたサンゴ保全  
-電気防食によるサンゴ増殖技術を開発



### コーポレートガバナンス体制の整備

- ◆ 2021年6月 監査等委員会設置会社へ移行、指名・報酬委員会を設置
- ◆ 2022年6月以降、取締役を7名に減らし、過半数の4名を社外取締役とする体制へ移行

### 株主・投資家との対話強化

- ◆ 2021年4月 IR室を設置
- ◆ 決算説明会を含め、株主・投資家との対話機会を拡充
- ◆ 投資家との個別対話機会を拡充



# ESG・SDGsへの取り組み(2)

## 当社グループの人材への取り組み

### 基本方針

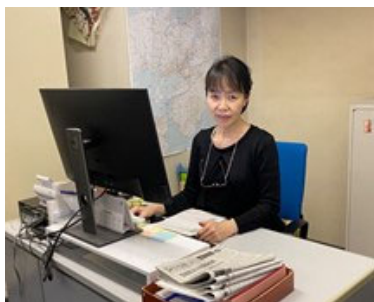
他業界同様、建設業界でも少子高齢化と生産年齢人口の減少に伴う人材不足という課題を抱える中、持続的成長を続けるためには、イノベーションを生み出すような職場環境の整備とともに、人材の確保と育成は重要な課題です。宮地エンジニアリンググループ(MEG)は、新たな価値を創造できる人材の育成と、その為に必要な人材確保へ向けた計画的な取り組みを行い、技術、技能、知識ならびに大切な企業文化の伝承および向上に努めるとともに、グループとしてのサステナブルな成長を目指します。

#### 【ダイバーシティの推進】

MEGは、企業の持続的な発展のためには多様な背景を持つ人材が活躍することが必須であると認識しております。MEGでは予めよりコーポレートガバナンス・コードに示された属性の登用等に係る測定可能な目標設定の努力とともに、事業環境の変化などを捉えて弾力的な運用を行うことが出来るように、過度な成果主義を改め、全社員を共通の基準(努力する業務姿勢と管理職にあってはマネジメント力)で評価する方針を取っており、指標となるべき企業行動憲章や行動規範を定め、女性・外国人・中途採用者を含めた全従業員が十分に活躍できる環境を整えています。中でも、「女性活躍・外国人活躍」は建設業界として積極的に進めなければならない課題であり、女性については、事務系のみならず技術系、技能系とともに積極的に採用して戦力化を進め、外国人についても、異文化の感性を社内に持ち込むことは会社の活性化、意識改革のためのメリットが大きいと考え、積極的に採用を進めております。

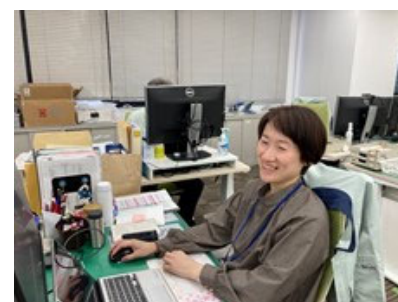
#### <村島 千賀子 / 宮地エンジニアリング株式会社>

この4月より当社初の女性常任参与に任命頂き、今まで以上に重責を担うこととなりましたが、女性活躍の更なる推進のみならず、男女関係なく育児や介護等の生活環境に合わせて仕事に取り組むことが出来るような環境の整備など、全従業員が働きやすい環境づくりに尽力していきたいと思っております。



#### <土居 知恵子 / エム・エムブリッジ株式会社>

私は、会社の安全・安心を守る要となる安全・品証室において、現場と職場の安全確認や従業員の健康管理等の担当をしています。これからも安全品証室の一員として、従業員のみならず協力会社も含めた全ての皆様の安全・安心を守るべく、業務に取り組んでいきたいと思っております。





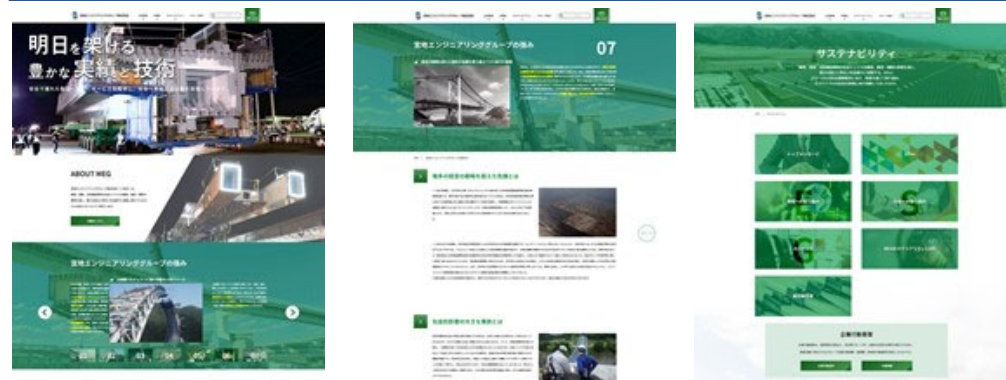
## 株主・投資家との対話の拡充

### 統合報告書を発刊



- ◆ 2023/5/22 統合報告書を発刊(ホームページにて公開)
- ◆ 当社グループの財務情報のみならず、価値創造プロセス、強みやマテリアリティなどの非財務情報の開示を拡充
- ◆ 来年以降は毎年9月頃の公表を予定

### Webページのリニューアル



- ◆ 2023/4/3 ホームページを大幅にリニューアル
- ◆ IRやサステナビリティに関する情報開示を大幅に拡充
- ◆ 併せて、当社グループの歴史や実績、強みに関する情報も開示

### 英文開示の充実化



- ◆ 2023/5/22よりホームページの英語版を開設
- ◆ それに合わせて決算短信、株主総会招集通知、決算説明会資料などの英文開示を開始
- ◆ 今後も継続した英文開示の拡充を検討中

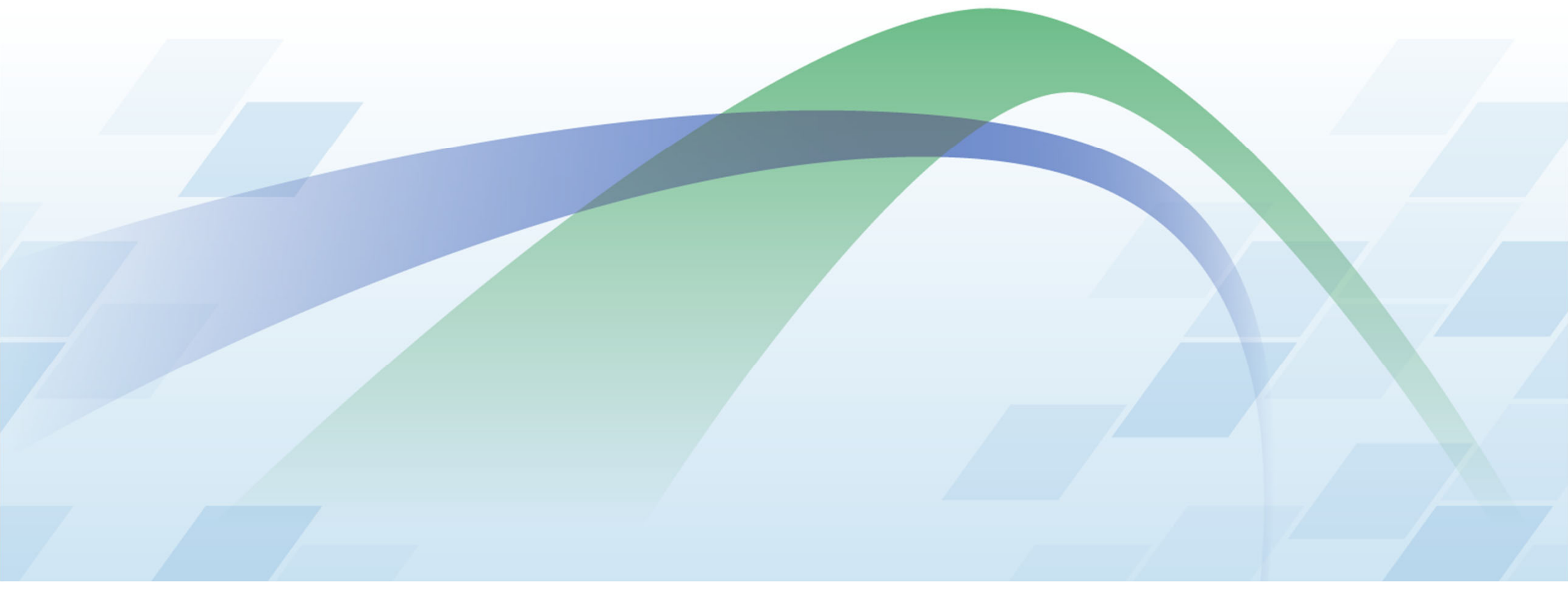
#### ◆ 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

#### ◆ IRに関するお問合せ先

宮地エンジニアリンググループ株式会社  
グループ企画管理本部 瀬戸井、遠藤、平岡  
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号  
TEL 03-5649-0111  
E-mail [meg.IR@miyaji-eng.co.jp](mailto:meg.IR@miyaji-eng.co.jp)

# IV. Appendix





## <宮地エンジニアリンググループの経営理念>

橋梁、建築、沿岸構造物等の  
社会インフラの建設、維持・補修の事業を通じ、  
豊かな国土と明るい社会創りに貢献する

## 宮地エンジニアリンググループについて(2/4)

当社グループの事業会社である宮地エンジニアリングとエム・エムブリッジは、国土交通省、高速道路会社等の官公庁から発注される橋梁の製作・施工を主力事業としております



発注者の発注枠内で経営していく受注産業であり、

その発注量は道路インフラ投資への官公庁の予算に左右されます

公共事業の受注は入札で決まるため、計画的に受注をする事が出来ない



受注を平準化して計画生産を行う事が難しく、損益に山谷が発生することがあります



◆ 主力の新設橋梁事業では、

高度成長期の橋梁技術発展に大きく貢献した首都高速の江戸橋ジャンクションに始まり、本州と九州を結ぶ関門大橋や明石海峡大橋をはじめとする多くの本州四国連絡橋、東日本大震災復興のシンボルである気仙沼湾横断橋、東京湾でも特に夜景が美しい東京ゲートブリッジ・レインボーブリッジ・横浜ベイブリッジ等、名だたる長大橋の設計・施工技術の実績があります

◆ 新幹線や鉄道上に架かる難易度の高い橋梁建設工事では、

長年にわたり培ってきた高い技術力と専門の職人集団の技能を活かした現場安全施工で高い評価と絶大なる信頼を頂いております

◆ 「特殊建築物の施工」および「沿岸構造物の設計・製作技術」は実績に基づいた

高い技術力が要求され、当社グループ以外で対応できる会社は限定されています

◆ 今後10年間で

7兆円規模と言われている高速道路のリニューアルプロジェクト、

事業規模5,000億円の大阪湾岸道路西伸部の長大橋梁を始め、

第二関門大橋(下関北九州道路)などの高難度のビッグプロジェクト、

更に、首都圏のターミナル駅の再開発事業、連続立体交差事業や高架化、

特殊建築物の施工および大規模沿岸構造物などが計画されており、

当社グループにとって更なる飛躍への絶好の事業環境と捉えております




# 会社概要

本店所在地	東京都中央区日本橋富沢町9番19号
代表者	代表取締役社長 青田 重利
創業	1908年9月
資本金	30億円
連結売上高	603億円 (2023/3期)



宮地エンジニアリンググループ株式会社

100%出資(連結)



宮地エンジニアリング株式会社 (MEC)

橋梁・鉄骨その他鋼構造物の設計、製作、架設、据付、維持補修、  
プレストレストコンクリートの設計、製作並びに土木工事の施工、  
工事管理、鉄骨・鉄塔・大空間構造物組立

51%出資(連結)



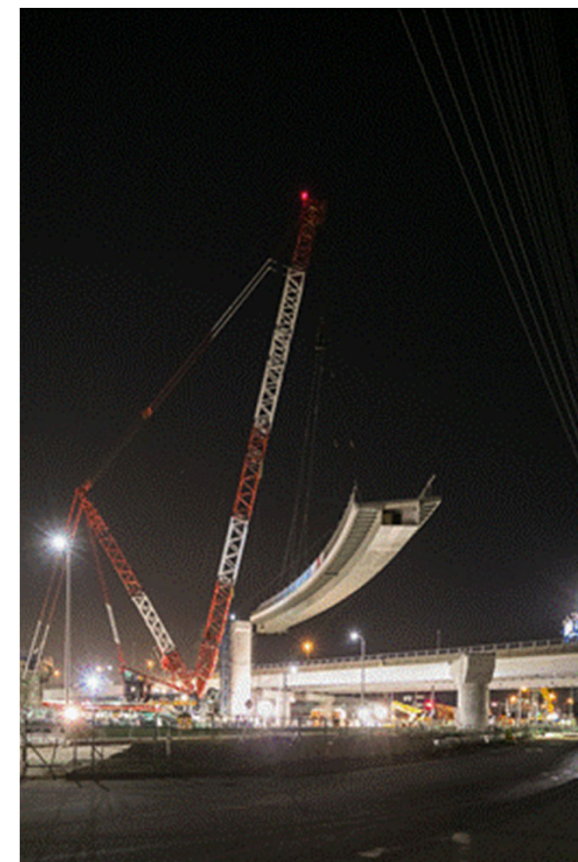
エム・エムブリッジ株式会社 (MMB)

橋梁、沿岸構造物等の設計、製造、据付、販売 および修理

100%出資(非連結)

株式会社エム・ジー・コーポレーション

鋼構造物の設計・製作・架設、ボルト・溶接材料等の販売、  
人材派遣業務、他





# 事業所および活動拠点



宮地エンジニアリング(株) 松本発電所



宮地エンジニアリング(株)  
栗橋機材センター



エム・エムブリッジ(株) 広島機材センター

エム・エムブリッジ(株) 富山事業所

宮地エンジニアリング(株) 兵庫機材センター

エム・エムブリッジ(株) 本社  
宮地エンジニアリング(株) 広島営業所

エム・エムブリッジ(株) 長崎事業所

宮地エンジニアリング(株) 福岡営業所  
エム・エムブリッジ(株) 九州営業所

宮地エンジニアリング(株) 沖縄営業所

宮地エンジニアリング(株) 札幌営業所

宮地エンジニアリング(株) 仙台営業所  
エム・エムブリッジ(株) 東北営業所

エム・エムブリッジ(株) 那須機材センター



宮地エンジニアリング(株) 千葉工場

エム・エムブリッジ(株) 市原工場

(株) エム・ジーコーポレーション 本社

宮地エンジニアリンググループ(株) 本社

宮地エンジニアリング(株) 本社

エム・エムブリッジ(株) 東日本支店

エム・エムブリッジ(株) 横浜営業所

宮地エンジニアリング(株) 名古屋営業所

エム・エムブリッジ(株) 中部営業所

宮地エンジニアリング(株) 関西支社

エム・エムブリッジ(株) 西日本支店

# 主なプロジェクト実績(長大橋・道路橋)

■ 過去から脈々と続く高難度のプロジェクト経験により高い技術を蓄積

～1970年代



関門橋(1,068m)

逐次剛結の先端技術で架設

土木学会「田中賞」

1980～90年代



明石海峡大橋(3,991m)

当時、世界一の吊り橋

土木学会「田中賞」

2000年代以降



東京ゲートブリッジ(2,618m)

日本2位のトラス橋

土木学会「田中賞」



首都高速江戸橋JCT

首都高の最難関工事



港大橋

日本一のトラス橋

土木学会「田中賞」



多々羅大橋(1,480m)

日本一の斜張橋

土木学会「田中賞」



有明筑後川大橋

日本初の橋梁形式

土木学会「田中賞」



気仙沼湾横断橋(1,344m)

東日本大震災復興の象徴

土木学会「田中賞」



# 主なプロジェクト実績(鉄道・大空間構造物・沿岸構造物)

- 高難度の施工技術を要する鉄道橋建設に数多く参画
- 大空間構造物においても、東京タワーをはじめ多くのプロジェクト経験を有しノウハウを蓄積

～1970年代

1980～90年代

2000年代以降

橋梁  
(鉄道橋)



東海道新幹線江川橋梁



東海道新幹線箕輪架道橋



東海道新幹線50K900付近さがみ縦貫道路16号橋

大空間構造物



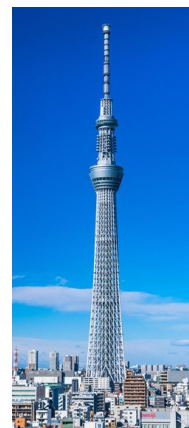
東京タワー(333m)



神戸ポートタワー(108m)



ナゴヤドーム



東京スカイツリー  
(634m)



札幌ドーム



東京アクアティクスセンター

沿岸構造物



南本牧鋼製ケーソン



東京港海の森トンネル沈埋函

# 当社グループの強み

## 大規模案件・高難度案件への参画を可能とさせる業界屈指の総合力

設計・製作

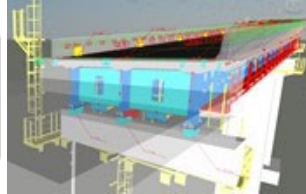
計画・架設

数多くのプロジェクト実績に裏打ちされた確固たる技術力

大規模プロジェクトに投入可能な人的リソース

経営資源を質・量共に  
揃える当社グループ  
だからこそ持ち得る強み

業界トップクラスの詳細設計力および技術開発力  
ICT関連会社と協力して、Click3D、CIM-GIRDER、  
CIM-SLABの3種類のCIMシステム等を開発



戦略・特殊機材の保有

業界屈指の手延べ機保有量  
日本一のアーチ橋を架設した  
ケーブルクレーン設備

機材を保有していること  
だけでなく  
扱える人材の多さと  
技術の高さが当社の強み

高技能集団との連携

高度な技術力を有する  
特殊職集団との連携は  
事業成立に必要不可欠

例) ケーブルクレーン



急峻な山間部等で通常クレーンの  
侵入が困難な場所で使用

自社工場保有が可能とさせる製作能力



海上長大橋の大ブロック製作対応も可能  
業界有数の生産能力を保有



職人の外部ネットワークにより  
高度な工事に対応するリソースを確保



# 当社が建設に参加した巨大構造物 I

## 本州四国連絡橋



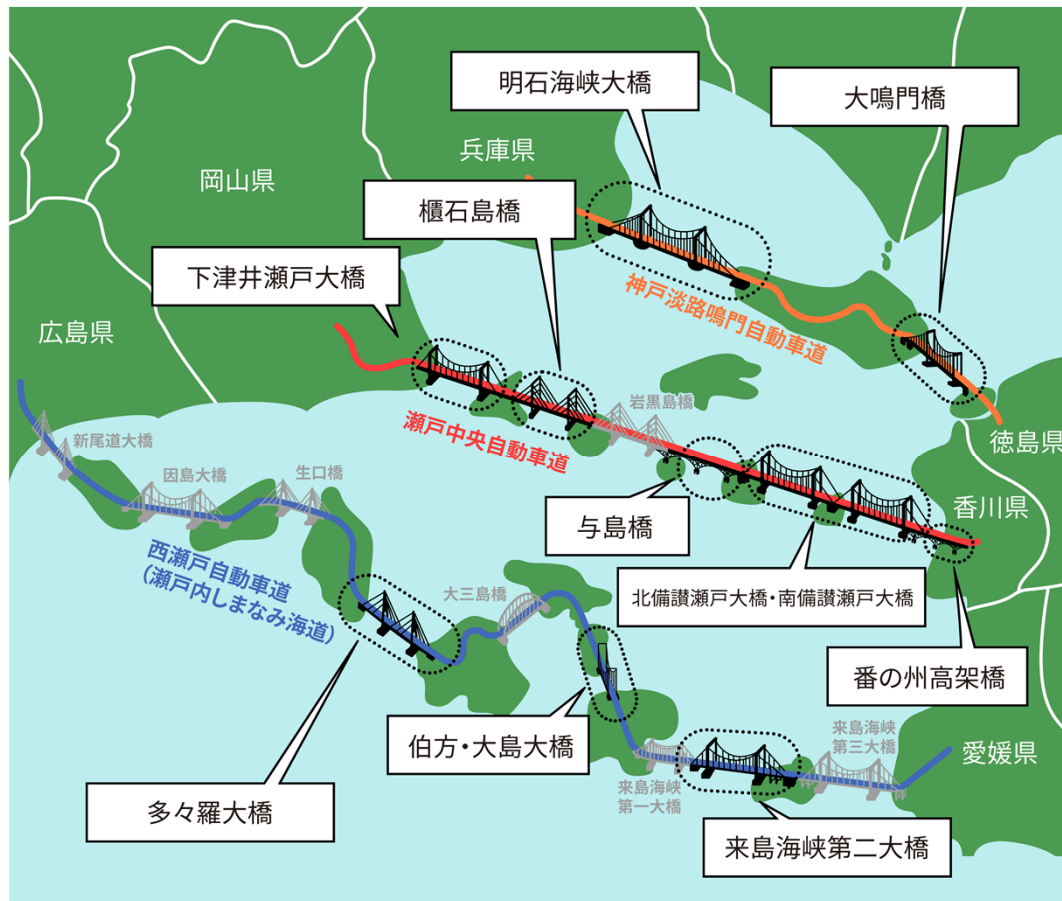
下津井瀬戸大橋



多々羅大橋



来島海峡第二大橋



明石海峡大橋



大鳴門橋



北備讃瀬戸大橋・南備讃瀬戸大橋

# 当社が建設に参加した巨大構造物Ⅱ

## タワー



東京スカイツリー



東京タワー



福岡タワー



水戸芸術館シンボルタワー



神戸ポートタワー



大分グローバルタワー



# 当社が建設に参加した巨大構造物Ⅲ

## ドーム等



エスコンフィールドHOKKAIDO



東京アクアティクスセンター



福岡PayPayドーム



レゾナックドーム大分



キューアンドエースタジアムみやぎ



バンテリンドーム ナゴヤ



大館樹海ドーム



札幌ドーム



日産スタジアム